

# 郷土しりょうかん

わたりちょうりつきょうとしりょうかん  
巨理町立郷土資料館

〒989-2351 巨理郡巨理町字西郷140  
Tel 0223-34-8701 Fax 0223-34-8709  
E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp

## 郷土資料館刊行物紹介

今年は郷土資料館の刊行物をピックアップして全3回に分けて紹介(しょうかい)します。

### 巨理町史 民俗編

昨年9月に刊行され、明治時代から現代までのくらしの歴史や、「しきたり」「ならわし」「いつたえ」などが12分野でまとめてあります。今回その中から「働く人々と技術 沿岸の漁」(右下写真)について取りあげます。

巨理の漁業の中心地は荒浜(あらはま)で、今でも多くの方が漁業で生計を立てている。と始まり、3人の漁師からの体験話では、漁師になった当時の話(はなし)や最初に取れたサケを初物(はつもの)といい、ハラコのあるメスをまな板(まないた)にのせ、自宅(おうち)の神棚(かみだな)に供え、御神酒(おみき)をあげて拝(おが)んでから祝(いわ)うというならわしが紹介されています。

カラー写真や図(ず)を多く取り入れた読み切り編集で、少しの時間でも手に取って読みやすいように仕上がりました。

1冊4,500円(税込)

※A4判オールカラー グラビア8ページ 本文585ページ

※各地区交流センターでも購入可



### 巨理町史 現代編



『巨理町史 上・下巻』(現在販売終了)の続編で昭和50年代から平成20年までの記録となります。近代末から現代の歴史大略に始まり、現代の巨理町の行財政・産業経済・生活環境・保健医療・福祉・教育文化について、最後に資料集を書き記した3部構成です。

巨理町の歴史を知るうえで持っておきたい1冊となっていますので、ぜひ手元においてご愛読ください。

1冊3,800円(税込)

※菊判(きくばん) グラビア16ページ 本文1,026ページ

#### 郷土資料館販売物一覧

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・町史民俗編(4,500円)</li> <li>・町史資料集第1集(1,000円)</li> <li>・伊達成実冊子(900円)</li> <li>・わたりの民話(1,000円)</li> <li>・ものしり大学院(300円)</li> <li>・末家焼展示図録(300円)</li> <li>・十文字館跡(800円)</li> <li>・巨理のいろはかるた(1,000円)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町史現代編(3,800円)</li> <li>・巨理小史(800円)</li> <li>・成実パンフレット(250円)</li> <li>・巨理の郷めぐり(500円)</li> <li>・ひな人形展示図録(300円)</li> <li>・桜小路横穴墓群(1,000円)</li> <li>・堀の内遺跡(800円)</li> </ul> |
|---|---|

次号の「郷土しりょうかん」は、10月に発行する予定です。

郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口(かくこうきょうしせつ まどぐち)に置きますのでご覧ください。

※令和2年度から発行が4・7・10・1月の年4回(ねん4かい)に変わりました。



# 郷土資料館開館中！

令和2年3月3日から新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、臨時休館としていましたが、国内・県内の感染状況を鑑み、6月2日から開館しています。

現在は企画展示室で「収蔵資料展」も開催中ですので、ぜひお越しになってご覧ください。

また、郷土資料館では感染症対策とみなさまへのお願いを下記のように実施していますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお祈いします。

## — 新型コロナウイルス感染症対策 —

展示室内は外気を取り込み循環させる空調を取り入れています。

展示室内のボタンなどお客様がふれる場所を定期的に消毒しています。

団体人数を10人以上として入室制限し、展示室内が過密にならないようにしています。

スタッフは、マスクを着用し、うがい、手洗い、手指消毒を徹底しています。

## ご来館されるみなさまへのお願い

1. 風邪の症状、(発熱、咳など)がある方、体調がすぐれない方は来館をお控えください。
2. ご来館の際はマスクをご着用ください。マスクを着用されていない場合は、入館をお断りさせていただく場合があります。
3. ご入館時、ヘルスチェックシートをご記入ください。
4. 出入口に消毒液を配置していますので、入退館時には手指をご消毒ください。
5. 展示室内では、ほかのお客様と距離をとってご覧ください。



## 第23回収蔵資料展 展示資料紹介

今年で23回目となる「収蔵資料展」を企画展示室で開催しています。新型コロナウイルスの影響により、開催時期が例年と異なりますが、8月23日まで衣食住をはじめとした暮らしにかかわる資料、巨理町の焼物「末家焼」など約100点を展示しています。

今回はその中から3点紹介します。

### ミス・ワタリの募集広告

昭和30年の町村合併を記念し、巨理商業倶楽部が主催。24歳以下の町内居住未婚者を対象。ミス・ワタリの現在が気になります。



### 末家焼 甕

作りから大正以前のもと考えられます。

末家焼は約320年前の江戸元禄時代に五代巨理領主伊達実氏が備前焼の陶工を招いて始めたと伝えられており、名は陶土を末家(現巨理町先達前)の土に求めたことに由来します。

高さが約60cm、口径が約70cmあり、当資料館に収蔵されている中でも、とても大型のものです。

焼き上げた窯の大きさも想像してください。



### 絵本カセット

カセットテープを聴きながら付属の絵本を楽しむ、昭和50年代後半のアニメや幼児向け番組がセットになったものです。





# 伊達成実霊屋御開帳



◎日 時：令和2年8月16日（日）8：30～16：30

◎場 所：巨理領主伊達氏歴代墓所（大雄寺境内 巨理町字泉ヶ入87-2）

初代巨理領主伊達成実の眠る霊屋が、巨理町泉ヶ入の大雄寺に、歴代領主の墓所とともにあります。成実は、正保3年(1646)巨理で79歳の生涯を閉じました。没後、初代仙台藩主伊達政宗の片腕として活躍し、巨理領主としても功績がある成実にふさわしい霊屋が建てられその後、軍配を持つ甲冑姿の像が作られ厨子に安置されて霊屋の中に納められました。霊屋は江戸時代初期を代表する霊屋建築として、木像とともに宮城県の指定文化財になっています。現在の霊屋は、永く現状をとどめるために柵がめぐらされていますが、年に2回霊屋を開帳し、中に納められている伊達成実木像を一般公開します。

また、「伊達成実霊屋」と「郷土資料館常設展示室」の2ヶ所を見学して、スタンプを集めた方々にオリジナル記念品をプレゼントするスタンプラリーも開催しますので、ぜひ足を運んでみてください。



御開帳は年に2回、  
8月16日と1月16  
日だけじゃ！



▲伊達成実霊屋御開帳

## 秋のテーマ展「巨理伊達家の資料」開催予定！

期 間：10月3日（土）～11月22日（日）

巨理の歴史を知るうえで欠かせない「巨理伊達家」については、常設展示でもコーナーを設けて取り上げていますが、より深く皆様に知っていただけるように、普段収蔵庫に保管されている伊達成実の資料や武具、調度品など巨理伊達家関連資料を公開します。



▲令和元年度の展示風景  
(衣食住に関する資料)

## わたりんグッズ取り扱いしています！

郷土資料館の受付では、巨理町の観光PRキャラクター「わたりん」のグッズを販売しています。今年はわたりんの妹の「ゆうりん」がついにグッズにも登場。新しくキーホルダーが発売開始になりました。ミニタオル等も発売予定ですので、この機会にぜひチェックしてみてください。

※わたりんグッズは巨理町役場商工観光課・鳥の海ふれあい市場でも販売しています。

新 商 品



▲キーホルダー(350円)

### わたりんグッズ販売物一覧

- ピンバッジ(350円)
- キーホルダー(350円)
- 缶バッジ(100円)
- ふせんメモ(300円)
- シールシート(100円)
- 手提袋(200円※1,000円以上購入で1枚プレゼント)
- ステッカーシール(50円)
- クリアファイル(100円)
- 鉛筆2本セット(150円)
- ボールペン(200円)
- トートバッグ(400円)

# 郷土資料館カレンダー・利用状況

## 7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 海の日	24 スポーツの日	25
26	27	28	29	30	31 資料整理日	

## 8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 山の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 /30	24 /31	25	26	27	28 資料整理日	29

## 9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21 敬老の日	22 秋分の日	23	24	25 資料整理日	26
27	28	29	30			

◆ は休館日



### じょうせつてん 常設展

R2.6.2~R2.6.30

- 開館日数…24日間
- 観覧者数…183人(1日平均8人)  
※R2.3.3~5.31まで臨時休館

### 第23回収蔵資料展~大好評開催中!~

R2.6.20~R2.8.23まで

- 開館日数…21日間(7.15現在)
- 観覧者数…220人(1日平均11人)

## おわりに

新型コロナウイルス第一波の流行が落ち着き、緊急事態宣言が解除されたので、6月2日から郷土資料館は開館となりました。再開を心待ちにしていたお客様もいらっしやっただので、とても嬉しい気持ちになりました。ところが6月後半から、国内では第二波の流行が見え始めています。少しの気の緩みから感染拡大に繋がってしまわないように、日頃から感染症対策をしっかりと意識したいと思います。

また、開催中の収蔵資料展の特別展示「疫病と巨理」に展示している清野日記からも予防の大切さが見てとれますので、こちらもぜひご覧ください。

### 郷土資料館利用案内

\*開館時間…9:00~16:30(入館は16:00まで) \*観覧料…無料 ※特別展等有料の場合あり